



# 議会だより 第19号

平成22年8月発行

# みやま

## 暑中お見舞い申し上げます

### もくじ

- \* 予算審査 ..... 2 ~ 3P
- \* 議案議決結果 ..... 4 ~ 6P
- \* 町政を問う・一般質問 ..... 7 ~ 15P
- \* がんばっちょーよ! ..... 16P

カヌー・ヨット教室(犀川本庄池にて)

7月20日 柳瀬小学校4~6年生

# 井上町政スタート!

(平成 22 年度予算)

**一般会計予算**  
**110億1,000万円**  
 (21年度 102億6,900万円)

**予算審査**

予算特別委員会を議員全員で構成し、6月17日・18日・21日の3日間予算審査を行い、原案の通り可決しました。収入は、町税19億5646万円で1.7%の増。  
 地方交付税38億5200万円は4.7%の減。臨時財政対策債1億340万円を財源不足にあてる。  
 基金繰入金7億4187万円は、主に伊良原ダム関連基金の繰り入れ。30.8%の増。  
 国・県支出金で、子ども手当で負担金、2億8587万円の増額。  
**歳出については、新規事業等主なものを紹介します。**

## 合併5周年 記念事業

記念講演及び功労・善行表彰等  
 247.1万円

## 有害鳥獣対策

猿被害巡視委託 3人分 252万円



有害鳥獣加工施設で解体し、新たな特産品として四季犀館にて販売中の「猪肉」「鹿肉」

## 少子化対策

### 子ども手当

児童手当及び子ども手当などで  
 3億4672.2万円  
 支給対象子ども数2363人

### 児童医療費を子ども医療費に改正

支給対象者を小学生から中学生(648人)まで拡充  
 支給総額 2792.5万円  
 実施は 10月1日以降

## 会計別予算

会計別		予算額(千円)
一般会計		10,269,000
特別会計	国民健康保険事業	3,098,495
	老人保健事業	9,630
	後期高齢者医療	255,808
	介護保険事業(保険事業勘定)	2,067,116
	介護保険事業(サービス事業勘定)	15,534
	住宅新築資金等事業	206,504
	土地取得	900
	水道事業(収益的収支)	342,683
	水道事業(基本的収支)	891,709
	農業集落排水事業	189,948
	公共下水道事業	127,628
	犀川財産区管理会	849
	城井財産区管理会	3,585
	特別会計合計	7,210,389
総合計	17,479,389	

## 町政の見直し

行政評価制度構築支援事業  
 400万円  
 人事評価制度職員研修  
 120万円

## 給食センター建替

設計委託及び造成工事費等  
7699.6万円



建設予定の給食センター模型

## 先人顕彰

映像ソフト作成  
文化顕彰町出身の人をDVDなどの  
映像つくり760万円



鶴田知也文学碑（豊津八景山にて）

## 緊急雇用対策

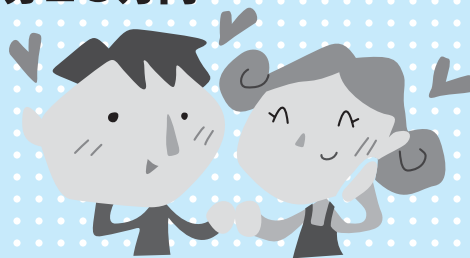
1921.6万円  
失業対策として町内の  
空き家の調査など。

# 合併5年目

## 出会いサポート

犀川蛇淵キャンプ場で結婚促進イベント企画  
町内独身男性と町外の女性へ参加の働きかけを  
する予定。

40人分25万円



カップル誕生を期待♪

## 伊良原ダム対策費

伊良原ダム振興、補償事業  
福祉施設、出張所、診療所、医師住宅等建設  
2億6900万円  
土地購入費1億239.2万円

## 住宅政策

新規住宅建替え事前調査開始 200万円  
犀川地区（桜台団地及び今里団地）  
※豊津地区の調査は、23年度以降で検討



建設中の5階建の三島団地（勝山）

新町長に抱負を聞きました。  
「日本一元気な町に！」



私は、「みやこ町を日本一元気な町にしよう！」を合言葉に、次の4点をキーワードに、まちづくりを進めてまいります。それは、「伝承・

協働・参画・ひとづくり」であります。素晴らしい文化や伝統遺産を受け継ぎ、次世代に引き継いでいく「伝承」。安心で心豊かな町にするための「協働」。町民が自ら町政に参画し、活力あふれる町にするための「参画」。そして最後に、こども達が未来に希望と夢を持つことができる、まちづくりの基本となる「ひとづくり」です。

今、地方は自分たちで考え、自分たちで実行して行かなければならない時代へと、大きく変わろうとしています。さらに、これまでの価値観が通用しない、足腰の強い行政運営が求められております。私は町民に開かれた政治を推進するために、皆様のご意見を町政に反映するとともに、町民本位の町政運営に徹していきたいと思っています。

10年後、20年後を見据え、私のめざす「ふるさとみやこ町を日本一元気な町に！」を実現し、誰もが「住むことが誇りに思える・新しいまち」を実感できるよう、町政の進展に最大限の努力をし、粉骨砕身、全力を傾注して、町民の負託に応えていきたいと思っています。

## 平成22年 第3回みやこ町議会定例会会議結果

議案名	議決結果	議案名	議決結果
専決処分(みやこ町税条例の一部改正)	原案承認 (賛成13 反対3)	工事請負契約(みやこ町小中学校太陽光発電及びLED等照明機器整備工事)	原案可決 (賛成16 反対0)
専決処分(みやこ町国民健康保険税条例の一部改正)	原案承認 (賛成13 反対3)	工事請負契約(豊津小学校耐震補強工事)	原案可決 (賛成16 反対0)
監査委員の選任(木村太吉氏)勝山	原案同意 (賛成15 反対1)	土地改良事業の施行(幸ヶ谷土地改良事業)犀川花熊	原案可決 (賛成16 反対0)
教育委員会委員の任命(松田憲太氏)豊津	原案同意 (賛成16 反対0)	みやこ町総合観光案内所の指定管理者の指定(みやこ町商工会)	原案可決 (賛成16 反対0)
教育委員会委員の任命(和田英樹氏)犀川	原案同意 (賛成16 反対0)	平成22年度一般会計予算	原案可決 (賛成13 反対3)
京都郡公平委員会委員の選任(白水孝大氏)勝山	原案同意 (賛成16 反対0)	平成22年度国民健康保険事業特別会計ほか10特別会計予算	原案可決
みやこ町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	原案可決 (賛成16 反対0)	中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書	継続審査
みやこ町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決 (賛成16 反対0)	みやこ町議会予算特別委員会設置に関する決議	原案可決 (賛成16 反対0)
みやこ町児童医療費助成事業基金条例の一部改正	原案可決 (賛成16 反対0)	「拡大生産者責任」「デポジット制度」の導入で循環型社会の再構築を求める意見書	原案可決 (賛成16 反対0)
みやこ町児童医療費助成事業基金条例の一部改正	原案可決 (賛成16 反対0)	保育制度改革に対する意見書	原案可決 (賛成16 反対0)
みやこ町乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正	原案可決 (賛成16 反対0)	ふるさと納税寄附制度の推進(陳情)	趣旨採択 (賛成16 反対0)
みやこ町公害防止条例の一部改正	原案可決 (賛成16 反対0)		

※ 福岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙の結果、井上幸春町長が選出されました。  
 ※ 行橋市・みやこ町清掃施設組合議員の選挙の結果、金房眞悟議員が選出されました。  
 ※ 選挙管理委員会委員及び補充員の選挙の結果、それぞれ4名ずつの委員が選出されました。

## 「拡大生産者責任」「デポジット制度」の導入で循環型社会の再構築を求める意見書

21世紀が「環境の時代」といわれ、ごみ処理の見直しが急がれましたが、経費は今まで以上に負担増となり、財政を圧迫しています。ポイ捨て、不法投棄問題は、いまなお日本中に蔓延し、被害は留まるところを知りません。

さらに、ごみ質の変化でプラスチック類が氾濫する今日、後始末だけが市町村の責任とされる現行法に大いに疑問を抱かざるをえません。「拡大生産者責任」の大きなポイントは、処理・リサイクルコストが上乗せされた商品を最終的には消費者が購入することで、消費者もコスト負担者になることです。

あわせて、ポイ捨て、不法投棄の問題解決に「デポジット」（預り金上乗せ）制度を導入することで、21世紀の循環型社会のモデルが実現可能となります。

市町村は厳しい財政難の中で、過剰な生産物の後始末に多額の税金を投入する余裕は今後ありません。よって、政府及び国会に対し、この制度の導入で、ごみ処理経費のあり方を今一度見直して循環型社会を再構築することを強く要望いたします。

# 可決！ 国に提出

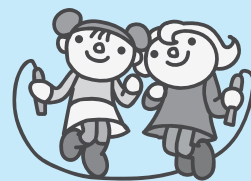
## 保育制度改革に対する意見書

国は、地域主権改革と称し、国が定める保育所の最低基準を地方条例に委ね、地方自治体が保育所を増やさなくても乳幼児を詰め込み、待機児童解消を可能にする方針を明らかにしています。

「幼保一体化」の、直接契約・直接補助方式の導入など介護保険制度をモデルにした保育制度改革をおこない、幼稚園制度と一本化することによって福祉としての保育制度を根本から変える検討をすすめています。

児童福祉法第24条にもとづく市町村の保育実施責任を大幅に後退させるものであります。保育の地域格差が広がるだけでなく、家庭の経済状況により子どもが受ける保育のレベルにも格差が生じることになりかねません。

全国どの地域においても子どもたちが健やかに育つために、保育における国と自治体の公的責任で、保育施策の拡充を求めます。



## 議会を傍聴して

議会は、住民の代表である議員が行政に対しての意見や質問をする場なので、職員は、それを聞いて職務に生かす必要があると考えています。

旧豊津町では、議会中継を庁舎内で放送し、ロビーではテレビ中継をしていました。業務中ではありませんが、議員の質問や町長、課長の答弁を直接聞くことは、職員の仕事に大いに役立っていたと思います。自分が担当している課や係だけの問題ではなく、町全体の問題を理解しておく事が必要だと思えます。

町づくりの一步は「人づくり」。その第一歩が「職員づくり」です。多くの職員が議会と執行部の生の声を聞く事により、自分達のなすべき方向性が出てくると思います。

そうすれば、失いつつある住民からの信頼、協力、協調等を取り戻し、真の官民一体となった町づくりができるのではないのでしょうか。

T・Hさん(豊津)より



※議会では、議会傍聴された方の感想文を随時募集しております。議会傍聴は、住所氏名の記入だけで出来ますので、お気軽においで下さい。

# 町からの報告 ▶▶▶ こんな報告も受けました

町内の第三セクター2箇所の直売所（国府の郷・四季犀館）の運営状況について、報告がありました。

※「採れたて市場」(JA直営) は町からの報告ではありませんが、委員会が取材しました。

## 平成21年度 直売所売り上げ実績

単位：千円

直 売 所 名	総売上金額	(内) 生産者委託販売
国 府 の 郷	5億9,993万4千円	4億7,933万9千円
四 季 犀 館	2億8,778万9千円	2億2,047万1千円
採れたて市場	6億3,953万2千円	2億 162万4千円

## 22年度事業計画

### 《国 府 の 郷》 豊津



- 国府公園を含めた「花ミズキの咲く直売所」をコンセプトに、休憩所や地域に開放された掲示板的の整備
- 直営加工所の開設
- 農業体験（ジャガイモ堀、田植え、稲刈り）

### 《四 季 犀 館》 犀川

- 食の安全、安心への取り組み  
「体にやさしい野菜」作りの為に野菜講習会等を開催し、消費者に対し「安全、安心」をPRしていきたい。
- 「こだわり」の野菜作りと商品開発（葉わさびとその加工品、激辛シリーズ、シカ・イノシシ肉等）
- イベント農園（落花生堀、サツマイモ堀など）



### 《採れたて市場》 勝山



- 直売所会員を対象にした栽培講習会の開催  
毎年、2月と7月に、地区ごとに野菜を中心とした栽培講習を開催しています。
- 旬の食材を使った試食会  
毎月、旬の食材を使った試食会を行っています。
- 夏祭り・創業祭等のイベント  
（スイートコーン狩りや芋堀体験等）

# 町政を問う!!

## 一般質問

### 活力ある町づくりの 船出に期待



浦山 公明 議員

**Q** 「日本「元気な町」をスローガンに、224名の職員を率いて、新たな船出。

みやこ町の活性化のため、今以上の活力と活気で、魅力ある町を目指している意気込みが伝わる。合併して4年だが、長年培った県政での物差しで町政を計るのではなく、目視、行動をもって舵取りをお願いしたい。

**町長の町づくり構想計画を問う。**

**A** 高齢化、少子化が進行し町は未来に大変危惧をしている。

元気な町とは、誰もが安心、心身とも健康で明るく生きがいを持ち過ごせる町。住民が誇りを持ち豊かで幸福感を共に共有できるとだと考えている。「伝承、協働、参画、ひとづくり」

これに沿った町づくりを考えている。

### 伝統文化の利用活用での町づくり

**Q** 立派な伝統文化の一つ、「祭り」。

催し物を皆で物づくり手づくり。人が集まれば酒あり、酔いしれ、笑い、和が生まれる。

時の流れと共に薄れ去ろうとしている。

昭和から20余年が過ぎた。一度、振り返り、伝統文化を活用すべき。

町も側面からでなく正面から、

誰と言わず官民一体となって取り組むことで、まずは「元気な町」、

そして、その上に「日本」が定着するのではないか。

**Q** 地域の伝統文化の活用、考えを問う。

**A** 地域に伝わる祭り、歴史的文化財、偉大な先人たちも数多い。

今後、地域に残る歴史、伝統文化を活用し、活力、魅力ある町づくり。

くりにつなげていきたいと考えている。

### 行財政改革の改善方針は

**Q** 20年度に策定。行革の要でもある削減、廃止、統合見直しとある。

中でも福祉施設は、8000万円

の補填をしている。福祉充実の前に管理費で破綻しないか。

**A** 類似した公共施設の再編や統廃合が不可欠。

用途見直しなど、町政懇談会で、町民の意見を聞いた上で判断し、進めていきたい。

### 独居老人施策の対応に

**Q** 高齢化、核家族の中、さまざまな要因で独居老人に

民生委員だけの周知でなく駐在員とも連携を密にしては。町の対応は。

**A** 見守りネットワークを推進し、民生委員、児童委員、駐在員、

関係機関の協力を頂き推進する。

### 子育て支援センターの移設はなぜか

**Q** 勝山地区支援センターが移設された。

**A** 「広場型」が補助対象外になったことから、センターということで、移設、開設をした。

利用者は4月、5月で570

組。子どもの発達、接し方、悩み、不安を抱えている親に情報を提供し、指導に応じている。



勝山子育て支援センターにて

# 一般質問

## 井上町長は町民と共に歩いて欲しい



直 義 員  
野 議 員  
柿

井上町長はどこに住んでいるのか

Q どのような人たちの中で暮らしているのか。どのような人たちに目を向けて町政を舵取りしていくのか。  
A 町民の暮らしの実態をどう見ているか。

A 犀川大坂に高齢の母と2人で住んで、いろんな行事に参加している。  
みやこ町では少子高齢化、過

疎化が急速に進行していて、地域活動の維持が困難な状況がある。こうした実態を踏まえ、取り組んでいきたい。

Q アンケートで町民の声を聞いて欲しい。  
A 必要だ。7月に地区懇談会を実施し意見を聞く。

利用料を安くしてほしい

Q 町の施設の利用料が高いとの声がある。

「負担は軽い方」との合併の約束に反する。

A 取るものは取り、皆さんが利用しやすいように、高くないようにしていく。



合併後使用料が上がり不満の声がある勝山体育館

臨時、パート、嘱託職員の雇い止めをやめよ

Q 非正規職員の雇い止めをやめ、継続雇用で現状の最低賃金などの労働条件の改善を急げ。

A あくまでも雇用期間満了に伴う募集。

今後も契約期間は、1年以内で変更はない。嘱託は最高5年働いてもらうが臨時、パートは1年。

広く募集を行ったほうがよいもの、あるいは再度契約を行ったほうがよいものなど、それぞれの職種及び内容について検討して募集する。

労働条件についても、本人承諾のもとで契約している。

Q 町内の失業者の実態に合わせた雇用の場を大々的につくべき。

A 4月から、6名の臨時的職員を雇用した。8月以降にも8名を雇用する予定。

町内への企業誘致に積極的に取り組みたい。

町営住宅の建替えを急げ

Q 合併して5年目になるのに建替えが遅れている。現在の入居者の要望を聞き、住宅計画を見直し、建替えのペースを上げよ。

A 犀川、豊津地区の建替えが遅れている。本年度予算に建替えのための調査費を計上した。

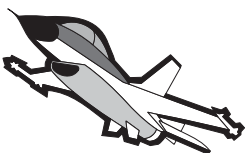
計画見直しは24年。それまで今の計画に基づき、入居者の要望を聞きながら建替えに着手する。

米軍普天間基地の訓練移転に反対する

Q 先の米軍再編による米軍戦闘機の訓練強化で、自衛隊築城基地の騒音被害が増している。

米軍普天間基地の訓練移転は、治安上の問題も心配。  
町長は反対の意思を明確に。

A 普天間の訓練移転に関しては、築城基地のこれ以上の活用を何としても阻止したい。  
近隣市町とも連携を図りながら、この思いを強く国に訴えていきたい。





# 皆でささえ合う

## 福祉のまちづくり



馬 勝 員  
田 中 議

### 介護保険料、独自の減免制度を

**Q** 介護保険料を少ない年金から天引きされ、生活が圧迫される低所得者に対し独自減免制度の対応に取り組むべきではないか。

**A** 生活が圧迫される低所得者層に対しては、相談があれば、境界層判断と言うのを行っている。生活保護受給者と同様かどうか判断をし、該当するようであれば、第一段階としての保険料としている。保険料の算定については、低所得者への配慮を行っているので独自減免制度は行っていない。

**Q** 国民年金のみの低所得者でも入居できる施設の対応を求め。

**A** 本人だけの収入では入所が難しいかたもいる。現法制度下に於いては家族からの負担、また生活保護受給も検討していかざるを得ない現状。

### グランドゴルフ場の整備を

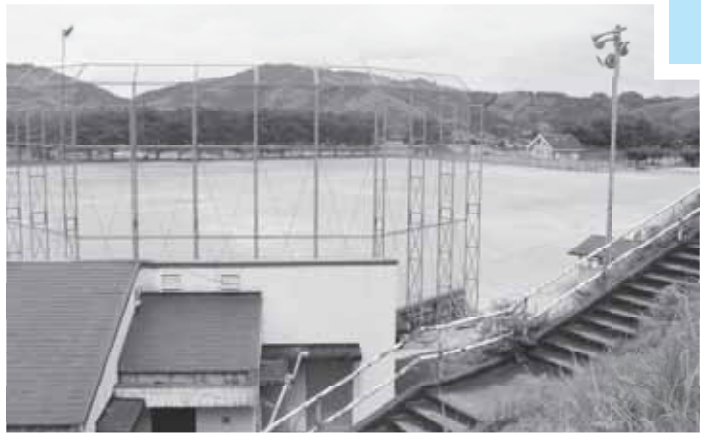
**Q** 高齢者の健康増進や障害者の機能回復を目的としてスポーツに励まれ

ている人のために、グランドゴルフ場の整備を求め。

**A** グランドゴルフ場を作ることによって、本町に多くの方がおいで頂き活性化するのであれば、検討に値する。今後の課題としたい。

**Q** 高齢者のクラブ活動に対する補助金の見直しと精査を求め。

**A** 今年度中に補助金の精査を行い、来年度予算に反映ができるかどうか、今すぐ答弁は出来ないが努力する。



勝山運動公園

### 託老所の開設を



**Q** 昼間、一人で家庭にいる高齢者を対象とした託老所の開設を求め。

**A** 託老所と似たような事業、生きがいデイサービス事業を行っている。託老所の設置案については、今後の状況等を見極めながら検討していきたい。

### 寝たきり高齢者、認知症対策について

**Q** 一人暮らしの高齢者は健康、事故、介護の必要等の不安を抱えている。

**A** 認知症を抱えている家族の悩みは極めて深刻なものがあり、多大な犠牲を強いられている。「寝たきり老人・認知症老人」の安否確認、安全確保、防災の公助体制、対策は出来ているか。

認の手段として活用されている。今後、高齢者、認知症等の見守りネットワークと言うものを検討する。  
防災計画については、本年度中に作成予定。



緊急通報システム

### 個人交通特区の申請を

**Q** 過疎地の高齢者の交通手段の対策に、行政として、個人交通特区の申請を指導するべきではないか。

**A** 過疎地における高齢者や子供など交通弱者の移動手段の確保は、喫緊の課題だと認識している。  
地域の実情に応じた適切な対応を早急に講じたい。

**A** 緊急通報システムが安否確認

一般質問

農林業振興のための  
専門部署の設立を



武田 光雄  
議員

**Q** この町のもつ広大な大地と恵まれた自然環境。近隣には、北九州、福岡という大消費地が控えている。  
さらには、離発着時間の制限緩和がされている新北九州空港も控え、高速道路まで近くに出来つつある。  
このような好条件を生かし、農林業を振興させていくには、現状の組織に加え、専門、責任部署の新設が不可欠であると思うが。

**A** 町の農業の状況については、農産物の品質、量共に潜在能力はまだ十分にあると思うが、販売面があまり確立されておらず、農協直売所等に偏っている。  
今後は、外部から専門的な経験者等の登用も視野に入れ、また、県や関係者の力を借りて、農産物の量の確保を行い、マーケティングの確保が出来るよう、専門的な部署の設立を考えて行きたい。



中山間地域の農業

常時、グランドゴルフが出来る場所の設置を

**Q** グランドゴルフは、最近、高齢者や障害者等を中心に人気が出てきている競技だが、気軽に楽しもうとしても、常時行なえる場所がない。  
いざ競技を行なうとなると、その都度ホールごとの距離を測定し、競技場を作らなければならぬ。  
これが高齢者や障害者にとって非常に厄介。

誰もが気軽に楽しめるために、各地域に1箇所ずつでも競技の出来る場所の設置を。

**A** まずは現状の施設の活用をお願いし、今後は関係者等の方に意見を伺い、これからの課題として、どういう方法があるのか検討していく。

目安箱を活用し多くのかたの住民参加を

**Q** 目安箱は旧勝山町時代にはあったが、合併後には見かけない。あるのであればどこにあるのか。なくなったのであればその理由を。

に指示している。  
**Q** 「目安箱はなくなったのか」という問い合わせが多かったのと、この施策の活用を促すためにこの質問を行った。  
あるのであれば、再度周知を行い、多くの人が利用出来る施策にし、住民参加の場にして欲しい。

**A** 今後もより多くの方々から意見を頂くため、箱の設置場所や住民周知の方法を検討し、町政運営の参考にして行きたい。

**A** 箱は、本庁舎ロビーや各支所のロビーに設置しており、定期的集約している。  
内容を見て、直ちに出来るものは、早急に対応するよう



本庁舎ロビーにある目安箱（御意見箱）

# 予防医療による 医療費削減をめざせ



熊谷みえ子  
議員

## 各種予防ワクチンの無料 接種など公費助成を求める

**Q** 子宮頸がんの原因は、HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染によるもので、ワクチンで予防できる唯一のがんである。  
また、細菌性髄膜炎は毎年約600人もの乳幼児がかかり、初期には発熱以外に特別な症状がみられないため、診断も難しく、重篤な状態となつて初めて分かる病気で、死亡率5%、後遺症の残る率は20%と言われている。

**A** 原因とされるインフルエンザ菌b型（ヒブ）と肺炎球菌には既にワクチン接種ができ、世界保健機関（WHO）は一九九八年に、世界中のすべての国に対して、乳幼児へのヒブワクチン無料接種を推奨している。  
公費負担は、何を優先か非常に難しい問題。  
接種方法（集団か個別か）医療機関の問題など、特に子宮頸がんワクチンは、病気の説明や、健診の必要性の説明等専門知識が必要となる。  
接種による健康被害はどう

なるのかなど、医師会と協議を行いながら、問題がなければ、公費助成を行うよう将来は検討していきたい。



## 平和な町に

**Q** 築城基地の外来用宿泊施設など、今でも基地拡大強化がすすむ中の移転訓練拡大に対して、反対を貫くことを求める。  
日米再編による訓練受け入れは、「沖繩の負担軽減」になつていないことは、沖繩の実態からも明らかである。  
日米再編による訓練が行なわれた時期は、嘉手納基地では7日間は騒音回数が増え、騒音回数が2倍になった日もある。

F15戦闘機の事故、部品などの落下などくりかえしていた。日常的に危険にさらされてきた築城基地周辺自治体のみやこ町長としての考えを問う。

**A** 訓練移転については、これ以上の町民への負担増は、容認できない。  
周辺自治体とも連携し、厳しく対処していく。

## 伊良原ダムの見直し検討はしたか

**Q** 政府のダム見直し方針に基づき、国土交通省が建設の是非を再検証するように県に求めているが、今後の事業計画にどんな影響があるのか。自己水源の確保をすること。受水量の見直しを。  
**A** 京築企業団の構成する市町村での話し合いは、されていない。  
6月29日に構成市町村の幹事会がある予定。

## 伊良原地域の生活基盤 確保の検討を求める

**Q** 荒廃した田畑の利用・活用についてできないか。  
移転後の、生活支援、買い物など、交通弱者をなくす政策について問う。  
**A** 平成22年度より地域活性化プロジェクトチームを組織する。  
活性化ビジョンの策定を行い、水源地域住民による自立的活性化の取り組みを図っていく予定。



運行中のミニバス(伊良原地区にて)

# 一般質問

## 支援事業員制度の 取り組みを



中尾 昌員 議員

**Q** 総務省は過疎対策、実態調査、活性化策を提言する支援員制度を創設している。少子化に加え、超高齢化と過疎が進み、消滅する地域が出ることも認識しなければならぬ。

**A** 町の実情に即した支援員の設置を検討し、早急に結論を出した上で導入を進めたい。

**Q** 文化遺産のある町は自ら観光名所になり得るが、ない町は、その自治体や地域住民の頑張りでなければならぬ。

**A** 文化財保護の立場から、そして、町や地域づくりの観点から、新たな説明板設置を前向きに検討する。

**A** (教育長) 積極的に児童生徒に対する歴史学習に取り組み、地域を良く知っているかたや郷土史会の方々の力をお借りしたい。



国指定重要文化財(永沼家住宅)

文化遺産などに案内板がない

**Q** みやこ町には15の学校がある。

学習支援に向けていきたい。



黒田小学校の敷地内にある橘塚古墳

# 井上新町長の施政方針、 町営住宅建替計画を問う



光吉さわ子  
議員

**Q** 井上町長は、犀川団地開発計画の中止を明言され、開発同意に対して住民の方々にお詫びの説明会を開催すると発言された。

合併以来4年間、この問題は、執行部も議会も論議を重ねてきた。大型事業で財政を伴うものには行政執行の責任がある。チェック機能を課すべき議会の役割が重要になってくる。建替地選定の調査費、住宅の現状、空家、更地の戸数、解体件数は。

**A** 調査費は200万円。管理戸数は1009戸。空家は162戸。耐用年数を超えて老朽化している状況で、建替は急務ととらえている。

まず、今年度は今里、桜台団地を対象に調査に取り組み、用地の選定をしていく。両団地の戸数は、102戸。そのうち空家は12戸。解体した更地は26戸。**Q** 計画では平成25年から30戸ずつ建替の予定。移転協議期間は系統的に総合計画に基づき、調査の実施を。策定委員会の設置を。

**A** 公営住宅ストック総合活用計画は、中間点の平成24年度に策定委員会を設置し見直す予定。



空家住宅(今里団地)

## みやこ町公営住宅の譲渡に関する条例の検討を

**Q** 住宅計画のアンケートによれば「現状のままに住みつづけたい」「払い下げを」「親子で住みたい」「風呂場、炊事場が危ない」等の要望が出ている。条例による譲渡計画のみやこ町での実績はあるか。

**A** 条例に基づき、入居者の要望により14戸の譲渡手続きを進めている。

光富団地16戸を譲渡した実績があり、小規模団地については積極的に進めたい。

**Q** みやこ町内業者数は110。建設、土木、水道、塗装、すべての仕事は町内で十分できる。

みやこ町の森林は福岡県の3%を占めている。

団地住宅を平屋にすれば、地元の木材で建設できる。雇用と森林資源の確保。伐採後は植林。

それらの立場で一連の住宅政策について、検討をいただきたい。

**A** 地元の業者、地元の木材を使うという指摘について、さらに検討を進めたい。

**Q** 一人暮らしの老人対策とサービスについて、心配されて



町内に沢山ある森林

いる。**A** 安全安心な暮らしにつながる事業を。

**A** 介護手当やおむつ代支給も、介護度4、5、非課税世帯といった制限がある。

今後の介護手当の支給要件を検討し、支給できる方向で検討したい。



# 一般質問

## 施政方針を問う



金房眞悟  
議員

**Q** 22年度予算、類似団体に比べ、予算は多額であるが、内容が見えない。

**A** 費用対効果の充実、交付税2億円減の中、更なる経常経費の節減、住民福祉を。

**A** 伊良原ダム対策5億円など、子ども手当等1億8千万円の増が大きな要因。厳しい財政状況のもと、不要不急、費用対効果を見極め経費の節減に取り組む。

職員の適正化計画、物品購

入、各種事務委託の見直し、特に施設の維持管理の一括契約、事務内容の見直し等大幅な削減を図る。  
元気な町づくりのため「粉骨砕身」頑張る。

### 生活基盤の整備を

**Q** 住民に密着した整備がなされていない。大型事業より日々の生活道路、交通安全施設等の整備を緊急に。

設等の整備を緊急に。

**A** 地区住民が日々安心して生活できるよう整備に向け誠意努める。

**Q** 「犀川(古川)団地造成」の事業費は。また、どう総括されるか。

**A** 「犀川団地」計画、6千500万円の支出。中止する。

### 空家対策は

**Q** 各地区に空家が多い。諸々の要因はあるも過疎の町。対応は急務であろう。

**A** 転入者の税優遇、補助制度等条例化を。

**A** 早急に対応しなければならぬ問題であるが、近所つきあいや自治会等のきまり等地域になじめず転居の例がみられる。

相互に関連するデータを集め、転入者に対し調整をする計画を進める。  
優遇措置は検討する。

### 食生活改善推進協議会の強化を

**Q** 食育への関心は、健康な食生活を実践する。特に、小学生、若い世代には大切である。

**A** 地域社会全体で強力な推進が急務である。どう取り組むか。

**A** 食生活改善推進の取り組みとして、小学校食育クッキング、献血時の貧血予防食づくり等を行っている。

今後は、初心者向けの男性クッキングも行い、男性会員の加入促進につなげたい。

### 行政(町)は「保育」から手を引くな

**Q** 教育、なかでも幼児教育の充実が少子化の中、急務である。

すべての子どもは、健やかに成長する権利を有する。  
保育所制度改革案、公的制度を大きく変えようとしてい

る。  
公的制度明記の現制度を守り、改革案をストップさせ児童福祉の制度として更なる充実を。

**A** 幼児期は、知的、人間関係の面でも急速な成長期。

この時期の少人数の教育を否定するわけではないが、団体の出来る同年齢の中で生活する事が大切だと思う。

子どもの将来を考えると、統廃合はやむを得ないものだと判断している。



お昼寝中の園児たち(久保保育所)

# 開かれた町政の推進を



原田さやか  
議員

## 交際費の使途の公開を 求める

**Q** 町長は施政方針で、「町民に開かれた政治を推進する。情報発信をする」と言われた。

**A** 具体的方法として、交際費の使途をホームページで公開したらいいか。経費は一切かからない。

**A** 町民への説明責任と公平かつ透明な町民に開かれた町政、町民参加による町政の推進のために、町長交際費の支

出に係る情報の公表は、既に本町の条例に基づき公開されている。

ホームページでの掲載については、やぶさかではない。

## 国際交流事業の見直しを 求める

**Q** 国際感覚豊かな人材の育成ということに異を唱えるものではない。

**A** しかし、中学生22名を対象のホームステイ事業は個人負担6万円。負担できる生徒しか参加できない事業だ。義

務教育の機会均等の大原則を逸脱する。

**A** 希望者のみの参加という事業では、相応の個人負担をいただくのが妥当だと思っ

ている。今後より多くの方に参加していただけるように、ホームステイ先を含め、内容の検討を行う。

## ホームステイに関する予算 (予算書から抜粋)

国際交流費		5,487,000円
内 訳	旅費、日当等	44,000円
	報告書C D作成等	30,000円
	ホームステイ事業業務委託料	5,400,000円
	有料道路使用料	13,000円

**Q** この事業は企画調整課が所管し、予算も総務費で計上されている。

**A** 中学生が対象の事業だから、本来教育委員会の所管であるべきだ。教育委員会で論議、検討すべきであるはずなのに、そういう経過を踏んでいない。

**A** 国際交流担当課である企画調整課で業務を行っている。参加者が全員中学生ということと、学校行事との調整など教育委員会が管轄するほうが都合がよい場面もあることは指摘のとおり。今後検討していきたい。

## 行財政改革について

**Q** 事務事業評価制度を導入すべきだと昨年来、何度も言うてきた。

行政評価制度の構築という

ことで外部委託400万円の予算措置がされている。22、23年度で800万円かけるのではないか。

**A** この事業をなぜ外部委託する必要があるのか。再検討いただきたい。

**A** 制度構築に当たり、職員研修やシステム設計などの支援を実績のある業者に委託する。再検討ができるかどうか、再検討してみたい。



本庁庁舎内2Fの様子



大会前の準備体操

# がんばっちょーよ!!

今回は、健康増進に意欲を燃やしている「グラランドゴルフ協会」を紹介します。

私達みやこ町グラランドゴルフ協会会員（勝山クラブ40名・犀川クラブ56名・豊津クラブ25名）は、各クラブ毎に会員が集まり、月1回のグラ

ランドゴルフ大会に向け、朝の清々しい大気を胸いっぱい吸い、元気に和やかに、週2回程度練習を楽しみながら続けています。

会員はベテランから入会数ヶ月のホヤホヤの新米さんまで、また高齢者86歳から若い方と幅広い層で構成されています。

グラランドゴルフは、他の競技と違い個人競技のため、いくら下手でも相手に迷惑を掛けないので、心配なく伸び伸びと皆と仲良く安心して競技を楽しめます。

会員の皆さんにグラランドゴルフを続けて良かった所をお聞きしてみました。

- 年齢に関係なく、仲間と一緒に気楽に楽しめる。
- 心身の健康増進、生活習慣病の予防改善、ストレス解消、老化防止。
- 歩行、競技、記録、仲間との交流等楽しみたい。
- 体力に応じた運動は筋力低下の防止だけでなく、手術後のリハビリに効果的。

があった。  
• 家内と一緒にグラランドゴルフを始め、話題が共有でき夫婦円満になった。

ぜひ、皆さんも一緒にグラランドゴルフをしてみませんか。  
たくさんのお入会をお待ちしております。



夏季大会の様子

連絡先		
犀川	豊津	勝山
田中	前田	川底
収	昭和	光義
☎ 42-1415	☎ 33-5653	☎ 32-2965

**議会傍聴においで下さい。**  
※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。  
9月の定例会は、日程が決まり次第、ホームページ・防災無線等でお知らせします。

発行日：平成22年8月1日  
発行：みやこ町議会  
〒824-0892  
福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地  
TEL0930-32-2511（内線301・302）  
FAX0930-32-4563  
編集：議会広報特別委員会  
印刷：(株)日報

発行責任者	議会		特別委員会
	議長	副議長	
肥喜里和隆	熊谷みえ子	中野義直	大東英寿
	柿野みえ子	村野直	中東巳天
	大野義直	中野巳天	田中勝馬
	武中勝馬	大田英寿	武中勝馬

## 編集後記

集中豪雨災害、口蹄疫と被害にあわれた方々お見舞い申し上げます。  
自然の猛威。災害に対して、政治のはたす役割は大きなものがあります。  
町長選挙後の6月定例会。

今回は9名が一般質問をおこないました。  
今までにない傍聴人で、立ち見ができるほど傍聴席は満員でした。  
皆さんの関心がよりよい町政・政治へとつながります。

7月の参議院選挙は、消費税10%への増税が最大争点になりました。  
与党は過半数割れの選挙結果を、どう受け止めるのか問われています。  
夏真っ盛りとなります。

暑さはまだまだ続きます。健康には十分気を付けて下さい。  
▼編集委員に大東英寿議員が加わりました。



(熊谷)